

核兵器禁止世代 (BANg)、イタリア
ジョルジョ・アルバ

みなさん、こんにちは

まずこの大切なイベントを企画していただいたみなさんに、お礼を申し上げたいと思います。

私は、2009年8月に長崎を訪れ、そのときにニューヨークでの行動に日本の青年をお誘いしました。今日、これほど多くの方々がニューヨークに来られたことを嬉しく思っています。私はジョルジョ・アルバ、イタリアから来ました。イタリアでは、核のない世界を実現するために奮闘しています。また、私は研究者であり BANg (「バング」) という団体の共同創設者でもあります。

BANg は「Ban All Nukes generation (核兵器禁止世代)」という意味です。

ともに運動することで、私たちの世代で核廃絶を実現することができ、また核のない社会を創ることができます。BANg では教材などを作成したり、非暴力的な行動を起こしたりすることで核放棄に向けた教育や社会の認識を高める努力をしています。

青年が声をあげ、NPT 再検討会議への代表団を結成し、スピーチを書く機会を提供してきました。今までに、BANg は3つのネットワークを築き上げてきました。ひとつは BANg ヨーロッパ、BANg アメリカ、そしてニュージーランドのアオテアロアです。

次に、私たちがなぜこういった運動をはじめたのかをお話します。

5年前の NPT 再検討会議では、青年がはじめて声を上げることができました。

しかし、会議自体は失敗に終わっています。そこで、国際的な青年組織を結成しました。日本のカタラオ・ハルカさんやヤスハラ・ハズキさんが書かれた青年の主張をご紹介します。日本のカタラオ・ハルカさんやヤスハラ・ハズキさんが書かれた青年の主張をご紹介します。

注意：私たちは、核であふれる社会を受け継ぐことになるかもしれません！核兵器のない平和で安全な未来を築くために、ともに立ち上がりたたいましょ。

前回の NPT 再検討会議で、フランスの団体の共同創設者であるソフィー・ルフィーズさんは、「この世代は、核兵器のない世界を次世代に引き継ぐべきなのに、それに失敗しています。私たちは核兵器が安全や環境、ましてや命をも脅かす社会で生活したくありません...ニューヨークからベルリン、ローマ、ベツレヘム、そしてパリから広島まであらゆる国のひとたちと共闘して核兵器のない社会を築くためにともにがんばっていきます」と決意を表明しています。この言葉が今でも私たちの運動のはげみです。

NPT 再検討会議が失敗に終わった後、核放棄を求めるヨーロッパ青年ネットワークを設立することに決めた青年たちが何人かいました。このネットワーク、BANg は現在、青年たちがヨーロッパをはじめとする世界各国で平和や核廃絶を実現するために戦略を考え、実行するために様々なアイデアが生まれる宝庫となっています。

最後に、みなさんにひとつ質問があります。「NPT 再検討会議のあと、どのようなメッセージを世界の仲間に伝えたいですか？」仲間のみなさん、未来はまだ描かれていません。私たちがその未来を描くのです。

みなさんとの平和への取り組みをお約束して終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。